

報道関係者各位(参考情報)

2020年10月12日

吉田鋼太郎さん、佐藤二朗さん出演 WEB動画「ほっとけない健康ニュース」配信

株式会社ファンケルは10月12日(月)から、「健康数値サポートシリーズ」の「血圧サポート」のイメージキャラクター・吉田鋼太郎さんと、「内脂サポート」のイメージキャラクター・佐藤二朗さんが出演するWEB動画「ほっとけない健康ニュース リモートワーク篇」を公開します。

今回制作したWEB動画では、お二人の掛け合いで健康管理の大切さをコミカルに伝えながら、当社の生活習慣対策サプリメント「健康数値サポートシリーズ」をPRしてまいります。



◆吉田さん・佐藤さん出演のWEB動画をYoutubeで公開

吉田鋼太郎さん演じる“不健康をほっとけない吉田健康太郎アナウンサー”と、佐藤二朗さん演じる“つい不健康をほったらかしにしてしまう佐藤二朗さん”がニュース番組の中で、ほとんどかみ合わない意見を主張し合うストーリーです。理路整然と正論を述べる吉田健康太郎アナウンサーと、それを苦し紛れに言い訳をする佐藤二朗さんのやりとりにご注目ください。随所で見られる吉田さんと佐藤さんのアドリブは必見です。

【動画ストーリー／“リモートワーク”と生じて、いつしか“リモート打ち上げ”に】

芝居の稽古として行っていた“リモートワーク”が、いつしか“リモート打ち上げ”になってしまい、明け方までダラダラと過ごしてしまった俳優・佐藤二朗さん。「ほっとけない健康ニュース」のキャスターを務め、自他共に認める“不健康をほっとけない男”吉田健康太郎アナウンサーが佐藤さんをスタジオに招き、「自身の健康についてどう考えているのか」と問い詰めます。意に介さず、苦し紛れの言い訳を連発する佐藤さんに対し、さらに語気を強め急き立てる吉田アナウンサーでしたが、自慢の肉体を披露しようと、いつしか自身も脱線しはじめ、舌戦をエスカレートしていき、最終的にはかわいいLINEスタンプを披露して仲直りします。

【WEB動画は以下よりご覧いただくことができます】

・「健康数値サポートシリーズ」キャンペーンサイト

URL: <https://www.fancl.co.jp/htn/index.html>



<WEB動画 ストーリーボード>



① 吉田健康太郎アナ
「こんにちは。吉田健康太郎です。」



② 吉田健康太郎アナ
「昨夜、俳優の佐藤二朗さんが後輩とリモート打ち上げを決行。結果、朝までだらだら盛り上がりましてしまったそうです。」



③ 吉田健康太郎アナ
「佐藤さん、今回の不健康っぷりは、ご自身ではどのようにお考えでしょうか？」



④ 佐藤さん
「これはですね、たまたま週に1度あるかないかですね…いわゆるレアケースなわけです。」



⑤ 吉田健康太郎アナ
「そういうだらしない生活をほっとくと、健康数値に影響大ですよ。」



⑥ 佐藤さん
「健康数値？」



⑦ 吉田健康太郎アナ
「高めの体脂肪率！ 血圧！ 血糖値！ 尿酸値！ まだ言いますか！？」



⑧ 佐藤さん
「許して！ 許して～！」



⑨ 吉田健康太郎アナ
「不健康は、ほっておかない！ 若いものにはまだまだ負けないこの健康体！ お見せしましょう。」



⑩ 吉田健康太郎アナ
「冗談です。その代わり…、私の健康体の写真だけお見せしましょう。LINEスタンプもあります。」



⑪ 吉田健康太郎アナ
「高めの数値をほっとかないために！ LINE公式アカウント・ファンケル健康チャンネルの友だち追加をどうぞ。詳しくは『健康数値サポート』で検索。」



⑫ (ナレーション)
ファンケルの『健康数値サポート』シリーズの提供でお送りしました。

【WEB動画 撮影エピソード】

・張りつめていた空気がリラックスモードに。スタッフを和ませた吉田さんのお茶目な笑顔

グレーのスーツを着こなしスタジオ入りした吉田鋼太郎さんは、監督との打ち合わせを終えると「ほっとけない健康ニュース」のセットでスタンバイ。3台のカメラを同時に使用する撮影であったことから、吉田さんはカメラの位置を念入りにチェックしました。報道番組のキャスターを彷彿とさせる険しい表情でカメラに視線を向けていた吉田さんですが、急におどけた笑顔を見せスタッフを笑わせました。ベテラン俳優の登場で張り詰めていたスタジオの空気は瞬時に変わり、リラックスモードで撮影がスタートしました。

・アドリブとは思えない吉田さんのユニークな演技で、スタジオ全体が笑顔に

1 カット目の撮影はリハーサルを省き、いきなり本番にする旨を監督から告げられると、吉田さんは「えっ!?…はい!」と驚きながらも、ベテラン俳優らしくアナウンサーになりきって演技をスタート。長いセリフをスラスラと話し続ける吉田さんを見て、監督は何故かクスクスと笑い始めます。実はこのとき、吉田さんが話していた内容はほとんどがアドリブで、台本に書かれていないユーモラスな演技でスタジオ全体が笑顔に。そのおもしろいセリフに、最後は吉田さん本人も笑ってしまい、ようやく「カット」の合図が入りました。おもしろくすることや“不健康”のキーワードを意識しすぎたためか、次のシーンでは「こんにちは、吉田“不”健康太郎です」とあいさつしてしまうひと幕も見られました。

・打ち合わせからカメラの前まで、常に抜群のコンビネーションを披露した吉田さんと佐藤さん

吉田さんに続いてスタジオに入った佐藤さんは「どうも、佐藤二郎役の佐藤二郎です」とあいさつすると、セリフが書かれたボード(カンペ)を見て「オレが所望したわけじゃないですよ…いや、したけどね。いらないけどね」とポツリ。それを聞き逃さなかった吉田さんが、「いらないの?じゃあ片づけて!」とスタッフに指示すると、佐藤さんは「いやいやいや…」と苦笑し、周囲は爆笑の渦に。吉田さんと佐藤さんの軽妙なやりとりは、カメラが回っていない場所でも途切れることなく行われていました。

・「思い切りやっちゃってください!」のオーダーで実現した、壮絶なアドリブバトル

佐藤さんは、豊富なボキャブラリーを用いた予想外の演技でスタッフを圧倒。吉田さんもダンディな表情からは想像もつかないユニークなアドリブで応酬するなど、その熱気は撮影が進むにつれグングンと増していきます。この日は撮影前に、監督から「思い切りやっちゃってください!」と、“アドリブ解禁”のオーダーが出ていたこともあり、吉田さん・佐藤さんも俳優としての経験を駆使して全力で撮影に臨んでいたため、時には息切れ寸前の表情を見せることも。撮影を終えた佐藤さんは、「これだけ(アドリブを)やって使われなかったら、監督を恨みますよ」と笑いながらつぶやき、スタジオを後にしました。

◆プロフィール



吉田 鋼太郎

1959年1月14日生まれ。

映画・ドラマ・舞台など、さまざまなジャンルで活躍している。

コメディな役からシリアスな役まで幅広くこなし、多くの作品に出演。



佐藤 二郎

1969年5月7日生まれ。

1996年に演劇ユニット「ちからわざ」を旗揚げ。

映画・ドラマ・舞台で幅広い役をこなす個性派俳優。

【参考】

「健康数値サポートシリーズ」について

2019年4月から通信販売と直営店舗、一般流通で、さまざまな生活習慣のお悩みに対応する製品として、「血圧サポート」「内脂サポート」「血糖サポート」「中性脂肪サポート」「尿酸サポート」の5製品をシリーズ展開しています。お客様の健康悩みをサポートするラインアップとして強化してまいります。適度な運動とバランスの良い食事とあわせ楽しく健康的な毎日へ、ぜひお役立てください。



「健康数値サポートシリーズ」5製品

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 経営企画室 広報部

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>